



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

成田赤十字病院

広報誌

〒286-8523

千葉県成田市飯田町90-1 TEL.0476-22-2311(代)

ホームページ <http://www.naritasekijyuji.jp/>

2011.03

臨時号



基本理念・基本方針

【基本理念】

赤十字の基本理念に基づき、患者様の権利と医療人としての倫理を守り、医療の質の向上と患者様中心の「こころあたたかい医療」の実践に努めます。

【基本方針】

- ① 地域の皆様から信頼される病院を目指します。
- ② 救急医療の充実、安全でより高度な医療の提供に努めます。
- ③ 地域の医療機関との連携強化（病診連携、病病連携）に努めます。
- ④ 国内外の医療救援活動に積極的に参加します。
- ⑤ 健全な経営と働きがいのある病院を目指します。

ふれあい

■■■■ 東北関東大震災の被災地へ ■■■■ 成田赤十字病院 救護班派遣！！

日本赤十字社千葉県支部は、成田赤十字病院から医療救護班と DMAT（医師・看護師・薬剤師・事務などから構成される医療チーム）を、東北関東大震災発災後、直ちに宮城県石巻市へ派遣しました。《記事全文は裏面》



石巻赤十字病院のロビーは、多数のけが人などでいっぱい状態！



雪が降り積もる石巻赤十字病院



道路が水没したため、簡易橋を渡って避難所に向かう救護班。

日本赤十字社千葉県支部は、成田赤十字病院から医療救護班とDMAT（医師・看護師・薬剤師・事務などから構成される医療チーム）を、東北関東大震災発災後、直ちに宮城県石巻市へ派遣しました。

石巻市周辺地域で機能している公的機関は石巻赤十字病院だけであり、ヘリコプターでひっきりなしに重篤患者が運び込まれ、自力で来院されるけが人も多数います。石巻赤十字病院のスタッフだけでは到底対応できない数の被災者を、全国から集結した日赤医療救護班が治療することによって、石巻地区の医療の砦となっています。

また、医療救護班は、津波によって孤立した避難所の巡回診療を開始しました。避難者の中から治療が必要な方を見つけ出し、自衛隊などと協力して、病院に搬送して救命活動を行っています。宮城県を含む津波の被災地において、医療ニーズは尽きません。当院は、さらなる医療救護班の派遣準備を進めています。

なお、千葉県内での救護活動は、多数の帰宅困難者が発生しているディズニーランドと成田国際空港にそれぞれ医療救護班を1個班ずつ派遣し、具合が悪くなった方への救護活動を行いました。

*3月24日現在の成田赤十字病院の救護班活動状況

- ・ 県外派遣：医療救護班10個班、DMAT1チーム、病院支援等 看護師3名、事務職員2名
- ・ 県内派遣：医療救護班2個班

派遣延人数 79名



仮設テントにて診療を行う成田日赤救護班の三橋医師（写真中央奥）



一時の休息。外は雪のためテント内は凍える寒さ。

東北関東大地震への義援金募集について

日本赤十字社では、東北関東大震災で被災された方々を支援するため義援金の受付けを行っております。

被災者支援のために寄せられた義援金については、義援金配分委員会を通じて被災者に配分いたします。

東北関東大震災の義援金の受付については、日本赤十字社千葉県支部ホームページ：<http://www.chiba.jrc.or.jp/> をご覧ください。

※日本赤十字社では、現在、物品のご寄付については、被災地の受け入れ体制が整っていないことから、取り扱いをしておりません。